

第7節 地域医療対策室

〔総括概要〕

地域医療対策室の主な分掌事務は、地域医療再生対策に関する事務である。

下都賀総合病院運転資金貸付事業については、栃木県南医療圏において二次救急を担う中核的病院である下都賀総合病院は、建物・設備の老朽化が進行するとともに、医師不足により一部診療科の休止・縮小を余儀なくされるなど厳しい運営状況にあるため、開設者である栃木県厚生農業協同組合連合会に運転資金の貸付を行い、下都賀総合病院の運営を支援した。

また、地域医療の充実、確保に対する住民意識の向上を図るため、「医療」を貴重な社会資源ととらえ、症状に応じた救急医療機関への受診や救急車の適正利用、かかりつけ医の必要性に関するパンフレットを作成し、関係機関等へ配布した。

地域医療対策基金積立事業については、市民の保健福祉の増進、地域医療の充実及び強化を図る事業の財源に充てるための基金を設置し、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行った。

栃木地区病院統合再編事業については、栃木地区メディカルセンター第1病院(仮称)の建替え整備及び栃木地区の3病院(下都賀総合病院、下都賀郡市医師会病院、とちの木病院)の統合再編の取組みに対して、支援を行った。

地域医療対策担当

- 1 下都賀総合病院運転資金貸付事業
 - ・貸付名称 栃木県厚生連運転資金貸付金
 - ・用途 栃木県厚生連が開設する下都賀総合病院の運営に要する運転資金
 - ・貸付金額 3億円
 - ・貸付期間 4月1日～3月31日

- 2 地域医療に関する啓発パンフレットの作成・配布について
 - ・作成枚数 20,000枚
 - ・配布先 病院・診療所(94か所)、薬局(75か所) 小学校(27校)
児童・教職員、中学校(13校)生徒・教職員、公共施設
(市役所・総合支所・保健福祉センター・公民館等)
 - ・配布時期 3月上旬

- 3 地域医療対策基金積立事業

積立金額	積立金額(利子)	繰出金額	平成23年度末現在高
500,000,000円	815,588円	△27,293,500円	473,522,088円

4 栃木地区病院統合再編事業

(1) 栃木地区病院統合再編協議会の開催支援

栃木地区病院統合再編協議会の事務局として、栃木地区の3基幹病院の統合再編と、新法人の立ち上げが円滑に進むよう支援した。

(2) 地域医療を考えるシンポジウムの開催

多くの市民に地域医療の現状と課題、3基幹病院の統合再編の取組みを理解していただくとともに、地域完結型医療提供体制の構築に対する協力が得られるよう、栃木地区病院統合再編協議会と市の共催により、「地域医療を考えるシンポジウム 地域医療の確保に向けて」を開催した。

- ・開催日 平成24年1月22日（日）
- ・会場 栃木文化会館 小ホール
- ・来場者 272人
- ・実施内容

第1部 基調講演	演 題 「地域医療～再生への処方箋～」 講 師 城西大学教授 伊関 友伸 氏
第2部 シンポジウム	テ ー マ 「栃木地区の地域医療確保に向けて」 ～3病院の統合再編に向けた取組み～ 座 長 栃木地区病院統合再編協議会長 石井 重利 氏 ・「地域医療における災害医療の必要性～東日本大震災を体験して～」 シンポジスト：医療法人陽気会理事長 早乙女 勇 氏 ・「地域医療の現状と課題～2次救急医療を中心に～」 シンポジスト：下都賀総合病院長 村野 俊一 氏 ・「新たな医療・介護提供体制の構築を目指して」 シンポジスト：栃木地区病院統合再編協議会長 石井 重利 氏 (社団法人下都賀郡市医師会長)

